

淀川水系における中上流部の河川改修の進捗状況と

その影響検証にかかる委員会

設立趣意書

平成21年3月に淀川水系河川整備計画を策定して以降、約10年が経過し、河川整備計画に位置付けた整備内容が進捗してきた一方、平成30年7月豪雨をはじめ、気候変動の影響と考えられる豪雨化傾向は、淀川水系も含め全国的に顕著になってきている。

そのため、河川整備計画に記載の「中・上流部の河川改修の進捗状況とその影響」について、全国的な水準や気候変動の影響も考慮の上、これまでの治水対策の進捗状況やその影響を踏まえた現時点の治水安全度を技術的に評価するにあたり、専門的意見を聴くことを目的として、淀川水系の治水対策のみならず、全国の治水対策や気候変動の影響についても知見を有する専門家からなる本委員会を設立するものである。